



技報の  
表紙を飾った  
主役たちの

# 今昔 写真展

技報表紙を飾った建造物は、

ピーエス三菱のその年の代表作です。

その代表作となった主役たちは、

今もなお現役で活躍しています。

竣工当時からの周辺環境の変化などで

現在は違った趣を感じます。

そんな主役たちの今の姿を

当時の姿と写真で比べる今昔写真展です。

当時の写真は、技報の表紙を飾った写真です。

技報の表紙を飾った主役たちの  
**今昔写真展**

**なぎさ・ブリッジ**

(技報第1号掲載)

なぎさ・ブリッジは青森県鯉ヶ沢町の“鯉ヶ沢の海園”の利用促進を図るために公園内に架けられた単径間ハイブリッドPC斜張橋の人道橋です。



**新聞谷川橋**

(技報第2号掲載)

新聞谷川橋は、静岡県静岡市に位置する第二東名高速道路の橋梁です。山岳地という条件により基礎構造・下部構造の縮小化が要求され、死荷重を低減するためにストラット構造が採用されました。



**国立劇場おきなわ**

(技報第2号掲載)

「国立劇場おきなわ」は沖縄県浦添市に建設され、国の重要無形文化財「組踊」を中心とする沖縄伝統芸能の公開、伝承者養成、調査研究等を行い、その保存振興を図るとともに、沖縄の地理的・歴史的な特性を活かし、伝統文化を通じたアジア・太平洋地域の交流の拠点となることを目的として建設されました。





## 近江大鳥橋

(技報第5号掲載)

近江大鳥橋は、琵琶湖の南に位置する第二名神高速道路の橋梁で、波形鋼板ウェブとPCエクストラード構造を組み合わせた初めての構造形式です。鶴が翼を広げて飛翔する姿をモチーフとした形状と、周囲の風化花崗岩の色調にマッチする薄茶系の着色コンクリートが採用されています。土木学会田中賞、PC技術協会作品賞を受賞しました。



## 今里第一トンネル

(技報第7号掲載)

今里第一トンネルは、静岡県裾野市に位置する第二東名高速道路のトンネルです。超近接双設大断面トンネルの設計・施工法を確立して、小土かぶりの大断面トンネルの施工に成功しました。本トンネルは、土木学会技術賞を受賞しました。



## 福生市庁舎

(技報第7号掲載)

東京都西部に位置する福生市の市庁舎です。外観は、縦横1240mm間隔で格子状の線材が並ぶ高さ22mのチューブ構造の外壁で構成され、平面は、22m×22mの無柱空間を有しています。外壁は、PCaRC部材フレーム、床版は21.5mのST版を採用しています。



技報の表紙を飾った主役たちの  
**今昔写真展**

**猿田川橋・巴川橋**

(技報第8号掲載)

猿田川橋・巴川橋は、静岡県静岡市に位置する第二東名高速道路の橋梁です。橋梁全体が周囲の景観と溶け込みかつ軽量感を創出させるよう、上部工の橋梁形式にはPC複合トラス構造を採用しました。土木学会田中賞、PC技術協会作品賞を受賞しました。



**掛川市津波避難施設菊浜地区**

(技報第11号掲載)

国内初のPCaPC工法が採用された掛川市津波避難タワーは、柱・梁および床部材がプレキャストとして工場で製作され、4本の柱が4辺の梁部材で剛結されたラーメン構造です。津波に対する補強として、柱の中間部に中間梁が設置されています。



**白虹橋**

(技報第15号掲載)

白虹橋は、京都府宇治市の天ヶ瀬ダムのかげに位置し、宇治川を渡河するPC単純複合トラス橋であり、架設には吊床版架設工法が採用されました。『渓谷との調和、虹と清流』をコンセプトにしたデザインが特徴的であり、景観に配慮した橋梁です。

